

萩市立明倫小学校 校長室だより

学校教育目標： 人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成

チャレンジ目標： ～明倫小A：気持ちのよい7mあいさつ～

～明倫小B：友だちを思いやる美しい心と校内外の美しい環境づくり～

～明倫小C：目標や志をもち、達成に向けて進んで取り組む子どもの育成～

伸びる力

2018, 5, 11(金) No. 1



「おはようございます」「さようなら」の
あいさつは、心があたたかくなる

～チャレンジ目標「さわやか笑顔で元気のよいあいさつ」への取組～



新年度がスタートして約1ヶ月が過ぎました。先日の参観日、学級・学年懇談会、PTA総会には、多数ご来校いただきまして、ありがとうございました。

私は、新緑のこの時期が1年の中で1番好きな季節です。花の美しい季節も素敵ですが、新たな芽を出し、若葉が一斉に伸びる姿が子供たちの成長しようとする姿に重なって見えるからです。まさに、この校長室だよりの題名にしている「伸びる力」にふさわしい季節なのです。

子供たちは、この1ヶ月で新しい学級や学校生

活へのリズムができてきました。

明倫小学校には、チャレンジ目標として「明倫小ABC」があります。Aは「7mあいさつ」、Bは「美しい心と美しい環境づくり」、Cは「目標をもち達成に向けて進んで取り組むチャレンジ」のことです。まずはAの「7mあいさつ」にしっかりと取り組みたいと考えています。子供たちは登下校のあいさつである「おはようございます」「さようなら」などの言葉が少しずつ元気よくできるようになってきました。これも、保護者の方をはじめ、地域の皆様方の本校に対するご協力のお陰と感謝しています。ありがとうございます。

あいさつは、元気のよい声も必要ですが、相手の目を見てきちんとあいさつができる子、相手よりも先にあいさつができる子、中には頭を下げてあいさつができる子など、相手にとって気持ちのよいことが大事だと思っています。相手が気持ちよければ、あいさつをする方も気持ちがよくなります。子供たちの中には、既にこのようなあいさつができる子どもが何人もいます。

このような子供の姿に接すると、朝から心がとてもあたたかくなります。本校のチャレンジ目標の「明るく元気のよいあいさつ」とは「気持ちのよい」と言い換えることができます。ただ単に元気よくあいさつをすればよいのではなく、「相手の立場や気持ちを考えてあいさつができること」なのです。つまり、相手を意識して双方向性のあるあいさつにしていこうということです。毎朝、地域の交通ボランティアの方々や保護者ボランティアの方々も各地区に立って交通安全指導をいただいています。感謝の気持ちを込めて、子供たちの方から進んで気持ちのよいあいさつができるようにしたいものです。

先日、学校のご近所のお年寄りの方から「子供たちのあいさつから元気をもらっています。とてもありがたいことです。」という嬉しいお言葉をいただきました。「気持ちのよいあいさつ」が広がっていくことは、明倫小学校の地域の活性化にもなりますし、防犯面からも有意義なことです。学校でもしっかりと子供たちのがんばりを認め、さらに「気持ちのよいあいさつの和(輪)」が広がるよう努力してまいります。引き続き、ご家

㊦ いてを見てあいさつ

㊩ つも元気にあいさつ

㊩ きに笑顔であいさつ

㊩ づけてあいさつ

(あいさつ4ヶ条)



庭でもご指導をよろしくお願いいたします。学校と家庭、地域が同じ方向を向いていくことが大事だと思います。

また、登下校時に高学年が低学年の世話をする様子をよく目にします。6年生が、毎



朝、1年生の家に迎えにいかれたり、1年生の手を優しく引いてくれたり、重い荷物を持ってくれたりする姿を何度も目にしています。これもとても心があたたかくなります。この6年生も5年前は1年生だったことを考えると、この5年間の成長の素晴らしさを感じることができます。体も心も大きく成長し、人のためにがんばる高学年にも感謝していますし、これからもこのような素敵な話が多くできることを期待しています。高学年のみなさん、ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

2018明倫小学校の教育（子供たちのために①）

何回かにわたり、今年度の教育方針を説明させていただきます。今年の明倫小学校は、2つの視点をもって、全教職員で一致団結して全力で子供たちの教育にあたります。

視 点

- ・ 子供のためになっているか。
- ・ 説明、結果責任が果たせるか。

子供たちの実態を考慮し、さらに前進すべく日々尽力してまいりますので、本校教育へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

学校と家庭・地域がしっかりと同じ方向を向いて、子供たちを育むことで、一人ひとりの子供たちのよさや可能性が十分に発揮できるようになると考えています。

1 本校の学校教育目標について

人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもたちの育成

明倫小学校は、心を育て才能を伸ばす教育の拠点校として、これまで多くの素晴らしい人材を輩出してきました。その本校教育の基底には、「藩校明倫館の学風」と「松陰先生の教育精神の尊重（松陰教学）」が脈々と受け継がれた歴史があります。

「人としての生き方を学ぶ」とは、先人に学び礼儀をわきまえ自他を尊重しながら、物事に進んで取り組むことで、人としての自立の基礎を身に付けるということです。本校では、凡事徹底に努めるとともに、生涯にわたって学び続ける意欲を大切にし、学ぶ意味を自分自身で見出すようにしていきたいと考えています。

「共に高まり合う」とは、いろいろな物・事・人とのかかわりの中で、そのよさや価値を取り入れていくことです。いろいろなかかわりの中で、相手の気持ちや立場を理解したり、我慢することや折り合いを付けることを学んだりすることも必要になります。さらには、かかわる自分自身を見つめることができる客観的な力も身に付けられるような子供に育てていきたいと考えています。

今回からこのような形で「校長室だより」を発行することとしました。子供たちの無限の可能性を見取り、育み、発揮させたいという願いをこめて校長室だよりの名前を「伸びる力」とします。子供たちの様子から私の思いや願いを届けさせていただきますとともに、保護者や地域の方々の思いや願いをお寄せいただく双方向性のあるたよりにしていきたいと考えます。よろしくお願いいたします。（次号に続く）

※ 学校経営・校長室だよりへの保護者・地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
児童氏名 年 組

